

令和6年10月10日開会

令和6年度第7回教育委員会定例会会議録

垂水市教育委員会

令和6年度 第7回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

| 日時及び場所 | 出席者 | |
|---------------|-------------|--------------|
| 令和6年10月10日(木) | 教育長 坂元 裕人 | 教育総務課長 草野 浩一 |
| 午後1時55分 | 教育委員 田原 正人 | 学校教育課長 川崎 史明 |
| ↓ | | |
| 午後3時55分 | 教育委員 葛迫 幸平 | 社会教育課長 大山 昭 |
| 第2研修室 | 教育委員 田之上 厚美 | |
| | 教育委員 福里 由加 | |

会議要旨

1 開会

定刻前ではあるが、定足数に達しており、令和6年度第7回教育委員会定例会を開会した。

日程第4のその他(2)「今後の学校の在り方」について、非公開にする旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

2 令和6年度第6回定例会会議録の承認について

令和6年度第6回教育委員会定例会の会議録について、承認する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

3 議事

報告第26号 教育に関する事務に係る議案についての市長への意見申出について

報告第27号 垂水市教育委員会事務局職員の令和6年10月1日付け人事異動について

4 その他

- (1) 令和6年第3回垂水市議会定例会における一般質問等について(教育委員会関係分)
- (2) 今後の学校の在り方について
- (3) 中学校の部活動の地域移行に係る地域指導者について
- (4) 市立学校給食センターのインスタグラムについて

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉会

議 決 事 項

| 件 名 | 提案等理由 | 審議の状況 | 採決の次第 |
|---|--|-------|-------|
| <p>報告第 26 号 教育に関する事務に係る議案についての市長への意見申出について</p> | <p>令和 6 年第 3 回垂水市議会定例会に教育に関する事務に係る議案として、「財産の取得の追認について」を件名とする議案を作成するに当たり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定に基づき、市長から教育委員会の意見を求められたが、急施を要したため、教育長の臨時代理により意見の申出を行ったことを報告するもの。</p> | | 承認 |
| <p>報告第 27 号 垂水市教育委員会事務局職員の令和 6 年 10 月 1 日付け人事異動について</p> | <p>令和 6 年 10 月 1 日付け定期人事異動に係る出向者、転任者を報告するもの。</p> | | |

議事内容等

3 議事

学校教育課長

報告第 26 号

教育に関する事務に係る議案についての市長への意見申出について
(資料に沿って説明)

教育長

ただいま説明があったとおりです。

ちょうど9月6日というのは、議会の開会日で議会から帰ってきたときに、その問合わせと同時に全国の自治体で同様の事案が発覚しているようでネットの間でどんどんどんどん広がっていたようです。

そして、調べたら本市も同様に議会の議決を得ていなかったことがわかったところでした。

早速、その情報共有を図りつつ、原因の究明、そして再発防止というところをお話したところでしたけれども、今、学校教育課長から説明あったとおりで、まずは課内でしっかりチェックしましょうと、そして、幸い2階フロアは隣に教育総務課というチェック機能を果たせる課があるわけです。そのフィルターをまずかけるといふところが大事なのかなと思います。そして、今度は課を横断して本庁の先ほど出た財政課とか関連の関係課と、またそこでフィルターかけてもらって本当に議会の議決はいらぬか確認するということです。

議会の議決を行わなければどうなるのかといいますと、議会の承認を経ずに購入してしまった行為を議会軽視と見られるわけです。

ですので、9月議会で議員からは「何でこんなことが起きたのか」とまっすぐに質問を切り込んでこられ、先ほど課長が説明したとおり、認識が間違っていたと答弁したところでした。

消耗品という形での購入であったため、2,000万円を超えてもそこはクリアされるものというふうに思い込んでいたというところがあって、結果、議会軽視というふうな内容にも値するような追認という形で議案上程を行ったところでした。

しかしながら勉強させてもらいました。2,000万円という壁、あと1億5,000万円という、もう1つまた壁があるみたいです。

そういう大きな金額を支出するときには、やはりいろんなところでフィルターをかけながら、これでいいのかというのをしっかり担保しながら前に進めないといけないというのを改めて感じた事案でした。

特に、今回は教師用のデジタル教科書がセットというところで、思わぬところで上がってしまったと2,000万を61万ちょっとと微妙なところで超えてしまったというところでした。

いずれにしても認識が甘かったという、それだけなのですけれども、いろんなところにやっぱり相談すべきだったなと私自身もやっぱり改めて自戒することになりました。

田原委員

よくわかったのですが、前回の4年前のときと契約金額が大きく違うのですけれども、こんなに高くなるものですか。

学校教育課長 やはりデジタル教科書の部分が大きいです。それとこれまで使っていた紙ベースの指導書の方も前回より2割程度、金額が上がっております。それプラスして、デジタル教科書の部分が増えてきたというところになります。最初のうちは、この2つを分けて購入する方法はないのかどうかというのを学校教育課で昨年度検討したところですが、やはり業者もセットでないと購入できないような仕組みになっていたところが多かったので、一括購入になったところでございます。

田原委員 そういうことであれば、さっきも話があったように垂水市はこの61万円ぐらいのオーバーだけですが、他の大きな市なんかはすごく上がったのではないですか。最初から動産として認識をして議会に上げていたのか。先ほどの説明だと事前にデジタル教科書の値段がよくわからなかったということでしたので、このような事案が全国的に出てきたという感じですか。

教育長 県内でも19市のうち6市ぐらいあり、対応として本市のように追認という形を行ったというふうに伺っています。デジタル教科書自体がライセンス契約という形になるものですから、なおさら認識の中では、動産という意識が薄いところもありました。

学校教育課長 補足をよろしいでしょうか。大きな市の場合には、例えば鹿児島市などは、教育委員会で一括購入するのではなくて、それぞれの学校と業者が契約をするような形になっています。従って、1つの学校でしたらどんなに大きくても2,000万円を超えることはなく、1つ1つの契約になります。また、その次ぐらいに大きなところについては、これまでも2,000万円以上超えていましたので、この意識はもともとあったようです。ところが、私たちの大きさぐらいの市とか、もう少し大きいぐらいの市については、これまで2,000万円を超えることがなかったもので、この意識がなかったというところで、やっぱり聞いてみると、同じぐらいの規模の市では、同じようなことが起こって今回議会に上程して承認されたところが、うちも含めて2市だと思います。あとについては、まだこれからどうしようかというところもあるようです。難しい問題ですので、今後は気を付けてまいります。

(承認)

報告第27号

垂水市教育委員会事務局職員の令和6年10月1日付け人事異動について

| | |
|------------------|---|
| 教育総務課長 | (資料に沿って説明) |
| 4 その他 | 令和6年第3回垂水市議会定例会における一般質問等について(教育委員会関係分) |
| 教育総務課長 | (資料に沿って説明) |
| 教育総務課長 学校教育課長 | 今後の学校の在り方について (非公開) |
| 学校教育課長 | 中学校の部活動の地域移行に係る地域指導者について (資料に沿って説明) |
| 福里委員 | <p>市立学校給食センターのInstagramについて</p> <p>最近、給食センターがインスタを始めていると思います。給食の献立が毎日アップされていますが、すごく上から目線で言っているように聞こえるかもしれないのですが、あんまり美味しそうに見えないっていうか、垂水の給食はすごくおいしいのですが、誰が写真を撮っているのですか、給食の写真の下がお盆だからちょっとわからないのですが、下が青っぽいというか緑っぽいので、自分の息子はプロでも何でもないのですが、そういうのが好きなので「なんで美味しそうに見えないのかな」と聞いてみたら、「光かな」と言っていました。</p> <p>多分こういうところで取っているのだと思うのですが、見てもらったら多分わかると思うのですが、すごいいい取り組みだと思うのですが、せっかくおいしい給食なのに美味しそうにみえないです。</p> <p>ふれあい給食については、垂水小学校はないことから子供がどんな給食を食べているのもわからないので、こんな給食を食べていると子供が言ったときに「これだね」とか話になるのですが、他のインスタを見ると、お弁当とか美味しそうにアップしている人は、やっぱり木目調のものの上に置いたりするなど何か工夫をされています。</p> <p>息子いわく、「ご飯やいろんなところに影が映っているから美味しそうに見えない」だそうです。</p> <p>この間、落花生が入ったご飯があったのですが、それはすごくおいしそうに見えました。近くから撮ったからですかね。</p> <p>給食センターの方が撮られているのですかね。やっぱり自然の光じゃないからですかね、幼稚園のインスタとか取るときは、やっぱり明るいところで取るようしています。</p> <p>外に出て撮ることはできないと思うので、もったいないなと思っています。</p> |

| | |
|------------------|---|
| 教育総務課長 | 今回初めての試みで担当が取り組んでいます、貴重なご意見いただきましたので、改善していきたいと思います。ありがとうございました。 |
| 5 委員並びに教育長及び課長報告 | 委員並びに教育長及び課長報告に入る。 |
| 田原委員 | <p>10月6日、日曜日でした。小学校の運動会、それから3時半からコンサートに参加しました。</p> <p>この日は非常に忙しい日で、早朝から水之上地区公民館の菜の花ロードの草刈り、耕し、種まきと6時半から7時半まででしたので、それから着替えて9時の新城小学校の運動会に参加しました。</p> <p>新城小ですが、天気が良くて開会式のころには暑さを感じるほどで、よく整備されたグラウンドに全校児童13名でしたか、整列し、後方に地域の方々を列を補って整列されていました。</p> <p>子供たちも元気いっぱい、「運動会の歌」の合唱はすごかったです。大声というか、声を出して歌っていて感動いたしました。</p> <p>あと競技がそれぞれ工夫していると思うことでした。短距離走は2学年で走って、コースを走るのはオープンコースじゃなくて、低学年がインコースを、高学年がアウトコースを走るようにして工夫されているのだなと思いついておりました。</p> <p>それから、小学校の種目の間に地域の種目を組み入れて、その中に校長も参加されておりましたけれども、地域と一体となった運動会ということで、ほほえましく思いついておりました。</p> <p>それから10時の休憩時間から終原小学校に移動しました。先ほど教育長が言われましたが、ここの児童数は30数名で急に大きな学校に来たように感じました。</p> <p>運動場いっぱいにはテントが張られて、地域の方々の参加が多いのにびっくりいたしました。</p> <p>児童の大玉回しは、途中でボーリングのピン倒しも組み込まれて工夫されているなと思いついておりました。</p> <p>校長は大きな声で、子供たちや先生方を応援されておられて、地域と学校の応援団長だなと思いついておりました。</p> <p>地域の金輪まわしの種目に先生チームが参加しておりましたが、思いどおりにいかない金輪まわしに悪戦苦闘されている姿が大変面白かったと思いついておりました。</p> <p>ここは、コロナのときも地域と一体になって実施していたので、やはりずっと繋がっているということで、地域と学校の連携が素晴らしく非常にスムーズになっていて、昼食時間もとって午後2時ごろまでということだったので、プログラムにも余裕があつてみんなが満足できる運動会になっていて、素晴らしいなと思いついておりました。</p> <p>それから15時30分からの瀬戸内藤吉翁記念グランプリコンサートに参加しました。</p> <p>これは、その昔は参加校がピリピリしながら演奏を競った大会でした。そういう中で、かつてグランプリを受賞した鹿児島情報高校が演奏してくれました。じっくりと堪能できた感じをいたしました。</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>二部構成で、一部では課題曲とかそういう本格的な演奏、二部では生徒が歌を唄ったり、お楽しみタイムのような観客を飽きさせないような豊かなコンサートとなって盛り上がっておりました。</p> <p>とにかく70数名、80名近くの演奏でしたので、音の迫力がすごく、また繊細な演奏というのにも心を打たれたところでした。</p> <p>10月の鹿児島での定期演奏会、11月には横浜のコンサートにも参加するというので、さかんに横浜での演奏会の旅費が足りないと言っておられ、寄附を呼びかけていましたので、少しだけ協力いたしました。以上です。</p> |
| 教育長 | 結局、グランプリコンサートは何人でしたか。 |
| 社会教育課長 | 500ちょっとでした。 |
| 教育長 | 2階席には、垂水小学校の子供たちが、金管バンドの子供たちが、先生と一緒に聞いていました。視覚的には1階がいいのですが、2階はやっぱり音がいいです。ありがとうございました。 |
| 葛迫委員 | <p>私も運動会に参加させていただきました。</p> <p>10月6日日曜日でしたけれども、8時半から始まった柗原小学校と柗原地区合同運動会の開会式から参加しました。</p> <p>この日はすごく天気もよくて、秋空のもとで、柗原小の元気な子供たちのエール交換、そして応援合戦、そこから運動会が始まりました。</p> <p>柗原地区の児童の父兄や関係者たちが見守る中でのにぎやかな子供たちのエール交換はとてもよかったです。</p> <p>また、その相手を思いやる気持ちがとても印象的で感動したところでした。それから小学生の種目の中で最初にあったのは、全学年短距離走があったのですけれども、低学年の子供たちは、なかなかスタートが合わなくて、もう一回走り直すのかなと思ったらそのまま走ったりして、早く飛び出す児童の姿が非常に目立ったのですけれども、高学年になるにつれてスタートがぴたりと合ってきて、やっぱり高学年だなと思うことでした。スピーディー、そして綺麗なスタート、日々の子供たちの成長の跡を見るような感じが、スタートに凝縮していたような感じがしました。その後、校区民の「大波ボール送り」、そして「早い勝ち」という種目に「出てよ、出てよ」と言われて、出たくなかったのですが、一応、参加させてもらったのですけれども、ものすごく気持ちがよかったです。</p> <p>朝晩が涼しくなってきましたので、ちょっと秋風が吹くこの時節を感じたさわやかな気持ちを体験できてうれしく思ったところでした。</p> <p>そのあとは新城小学校に行ったのですけれども、ここもやっぱり小学校と地区の合同運動会でした。児童数が少ない新城小だったので、ちょうど学校についてきたときには、児童と保護者が参加する種目「家族かけっこ」をやっていました。</p> <p>そのあとは新城独特の「五輪くつ飛ばし」というのがありました。昔からやっているのですけれども、それとか児童や保護者、地区民の方たちが参加する「新城音頭」これも観覧することができました。</p> <p>児童数の少ない新城小だったので、新城小学校の運動会で、</p> |

| | |
|--------------|--|
| <p>教育長</p> | <p>新城地区の子供たち、児童、そして父兄の方々、地域の方々、その家族愛を一番感じたところです。以上でした。</p> <p>いいですね、家族愛。新城小は柗原小のような数の多さはないのですけれども、確かに地域の方々も、保護者にしてもおっしゃるような何かこう、しっかりと繋がっているという見えない家族愛みたいなものは、ほっとするというのか、温かみを感じるというのかそんな独特な雰囲気があります。</p> |
| <p>田之上委員</p> | <p>私も運動会について報告します。</p> <p>はじめに垂水中央中学校です。まず競技種目や応援など真剣に取り組む姿。また、楽しんでやっている様子を見ることができて、「さすが中央中の生徒だな」と思うことでした。</p> <p>開会式は、時間短縮なのか、熱中症予防なのかわかりませんが、非常にスマートなやり方だったように私は感じました。</p> <p>また、100メートル走で男女とも新記録が出たことは嬉しいことで、これからの励みになるだろうなと思いました。</p> <p>小学校ですが、新城小学校と柗原小学校へ行きました。両校とも小規模校でのかけっこや競技種目、校区の種目など合同開催ということで様々な工夫をされていることが見えました。多くの校区の方も参加をされて楽しんでいるようでした。</p> <p>柗原小学校では、5・6年生と中学生のリレー対決があるなど、多くの中学生が役員として、先輩としても活躍してくれており、頼もしく観覧させていただきました。以上です。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>確かに新城小も柗原小も中学生の姿がいずれも見受けられました。</p> <p>その子らは役員をやってくれたり、競技に参加してくれたりして、そういうところも先ほどありました「家族愛」というところに繋がっていくのかなという気がします。すごくいい雰囲気だなと私も思っていました。</p> <p>中央中は、新記録が2つ。開会式も今どきの開会式でした。</p> <p>確かに、まだ暑いですので、熱中症対策というところはあるかもしれませんが、中学校の場合は、来賓の方々ももうテントの前にもでなかつたので、あれはあれでいいのかなと思っています。</p> <p>スマートなやり方という評価をいただきました。そういう評価をいただければ、本当ありがたいです。</p> <p>中央中の生徒を見ていると「楽しんで、やるときやる」きちっと、メリハリのきいているというのか、そういう部分を感じます。</p> <p>また、しっかりと真摯に一生懸命というところ、またそういうところをいろいろ中学生ですからあるのでしょうけれども、こういう行事を一つひとつみんなで重ねていくことで成長していくのかなということも、また一方では思うことでした。</p> |
| <p>福里委員</p> | <p>私も9月15日の垂水中央中の体育祭に行きました。</p> <p>何日も前から雨予報でしたので、もう延期かなと心配していましたが、当日は1時間遅れで開催されました。</p> |

熱中症対策でプログラムがだいぶ削られて、また中学校の役員会でも話をしたのですけれども、足の速い子は出番がすごく多く、その他の子は3つ、縦リレー・応援団まで数えると、すごく差のついた運動会だったなと感じました。

自分の子が速ければそれで済んだことなのかもしれませんが、縦リレー・応援団をしない子は、出場種目は「ソーラン節」、「クラス競技」、「学級対抗リレー」の3つしかなかったのです。

3年生に関しては、短距離走の組み分けまでしていたらしいのですが、何か急に削ってきたということだったので、あのプログラムでするなら、昼まででよかったのではないかという人も結構いらっしやいました。親の方でも中学校の役員会のときにそういう意見も出ました。

また、短距離走があった方がいいのではないかとか、ハチマキを忘れたら1点マイナスとかいうことがありました。青組は結局ハチマキを忘れた子が多くて、これで負けてしまった。それで何点か足りなくて、保護者の方はもう学校で買えばよかったのではないかとか、いろんな意見が出ました。

昼食も子供たちだけが教室で食べて、保護者は自由となりました。

また昼食後、残りの競技が応援団の演舞と縦リレーだけだったので、一部の保護者の方は帰ってしまい、子供たちが一番頑張ってきた応援団の演舞があまり見てもらえなかったようです。

保護者の中にはもう来ないからという方も何人もいらっしやった中で、朝は、結構、保護者の方はいらっしやったのですが、昼からはガラガラとなって、閉会式もガラガラとしている感じで残念だったなと感じました。

子供も教室でご飯を食べたということは後で聞いたのですが、うちの子供たちは、ちゃんとチームとして一体感を作ろうということで、みんなで輪になって弁当食べたようで、すごくいいことがあったのだなと感じました。

ソーラン節は、後で聞いたのですが、前年度は終わった瞬間に「しっかりしろよ」というやじが飛んだらしいです。ちょっとだらだらしている感じがあったらしくて、今年は昨年その言葉を体育部長が聞いていて、去年よりもみんな力を合わせて、練習からリベンジをしたいということでやったそうです。

練習中も体育の先生と生徒との対立がすごかったみたいで、もう練習をしたくないという子もいたりして結構ごちゃごちゃあったみたいです。

しかし、去年から比べると、隊形移動が新たに組み込まれていたりして、すごくよかったと思いました。

3年生の学年主任の先生が「まれに見る、すごくいい運動会だった」ということを後で言われていました。

10月6日、柗原小学校と新城小学校の運動会に行きました。

少ないながらも柗原小はすごく地区の愛を感じて、新城小はすごい伝統のものが組み込まれて、すごくよかったなと感じました。

13日は垂水小学校の運動会です。委員の皆様も時間があれば子供が縦リレーに出るようになっているので見に来ていただきたいと思います。以上です。

教育長

いろいろなご意見を賜りましたけれども、この運動会の在り方についても今、中身を含めて、やり方を模索している段階かなという気がします。

コロナを経て、もういきなりフル開催で、元に戻すのではなくて、いろいろな保護者も含めて、地域の方も含めて、声を聞きながら、どういうことを、どういうやり方が結果的に子供たちのためになるのだろうか、あるいは先ほどの言葉ではないですけども、地域の方々の喜びだとか、楽しさ、あるいは学校への気持ちをぐっと引きつける、そういう魅力あるものになるのかというような模索をして、今後またその模索の過程を見ていくことになるのだろうと思います。

1つはやっぱり気候変動はあります。暑さに耐えながら開催するのではなく、私ももう思い切って5月開催もありだと思っています。または徹底的遅らせる。今ぐらいの時期ですかね、今どきがちょうどいいかもしれないです。10月中旬以降、11月半ばもいいかもしれないです。

また、保護者もいろいろな声があるのですね。ありがとうございました。

では、私の方から、まず9月の26日、鹿屋体育大学との連携協議会がございました。

学校との関わりでいいますと、今現在、新城小学校の子供たちは鹿屋体大の学生に来てもらって、走競技を中心に指導してもらっています。

今、非常にいい結果に結びついているということで学校教育課の方では、これをぜひ広げたいというところで、しかもそれぞれ専門性を学生が持っておりますので、その専門性を生かした実演、あるいは指導をお願いしたいと考えております。

まずは、各学校のニーズ調査・規模がどれぐらい挙がってくるのかなというのを拾って来年度から形にできたらなというところで今、学校教育課長、指導主事が中心になって動いてもらっています。

子供も大事なのは運動のコツだと思います。それが「わかる」、「わかるとできる」、「できると楽しい」、「もっとやりたくなる」というところで、運動好きな子へ、やがては生涯体育へと、いい流れができていくのかなという気がします。そういう意味では、この鹿屋体育大学の連携協議会、これをうまく使いながら、ぜひ学生のよさを生かして、体育の面から子供たちを変えていきたいなと思っているところです。

次は10月5日土曜日、新城の宮脇海岸公園「サウザンズガーデンたるみず」のグラウンドオープンでした。

ここに私と新城小学校と柗原小学校の校長・教頭、メインは子供たちが10数名参加してくれました。

ここに宿泊施設棟が完成したということでセレモニーがございました。それがメインなのですが、私どもにとっては、水之上小学校出身の鹿島シェフがお見えになったことです。

この方は子供たちを前に呼んで、いわゆるスイーツの作り方を啓明なトークを交えながら、伝えていくという、あの時間は貴重でした。

そのスイーツはティラミスでしたが、ティラミスも簡単に作るのです。

よくテレビであるように「もう作品は実は冷蔵庫の中でできているんですよ」と言って、最後は、参加されている皆さんに配って、そしてそれを

我々も堪能したのですけれども、いろんな場でそういうお披露目される機会が多いので面白かったです。

相手は子供というところで、非常に言葉もくだいてわかりやすく、また、かつ面白く話をされました。

いろいろと自分を語る中で、シェフになった理由とか、そういったものも話をされましたけれども、大きかったのは家庭の環境のことをおっしゃいました。自分自身が家に帰ったら、もうやることはそういう料理だったと。

また、その前の話が面白かったです。図書館に行って料理の本を手にした。普通はその後行動に移すというのはまれな子ですよ。

最初、「図書で調べた」→「これは面白いな」→「これできるのかな」という、そこからだったのだそうです。それが重なって行って、そしてシェフの道へというようなことを話されていました。

あとはですね、子供が面白い質問をするんです。「鹿島シェフの一番のフランス料理、おいしいフランス料理は何ですか」と聞いたんですよ、いい質問をするなどと思って、そしてまた返しが面白いです。何といったと思いますか。意外とシンプルに「フランスパン」といったんです。フランスパン、これも意外です。言われてみれば、だよなど、あの硬さといい、そういうのはもうたまりません、みたいな感じの話でした。

また、お父さん、お母さんもきていましたけど、やっぱり自分の息子を本当に温かいやさしい目で見守るといえるか、お姉ちゃんもきていましたね。まさに、アットホームな感じでした。

子供たちもスイーツの味にも感激しました。

ちなみに、ティラミスはイタリア発祥ですと自分でもおっしゃって笑いをさそっていましたけど、もう面白いフレンドリーな方でした。

ぜひ、鹿児島でお店を開いておられるそうですので、機会がありましたらぜひいってみてください。

あと、昨日、人権教育の研修会、ここ数年お見えになられている宇都先生が講師でした。

講演会が終わってからおっしゃったのが、「今日は、いわゆる係長とか、課長とか、校長とか、教頭とか、そういう要職にあられる方ですので、冒頭1つあまり聞かれたことのない話をします」といい、おっしゃったのは、心理的安定性の高い職場がやっぱり大事だとのことでした。

これは何かというと簡単に言うと、自分の思いとか考えが上下、あるいは男女関係なくいえる職場は、そのことをしっかりと受けとめる、そういう関係性をきちっととれているところは、そういう心理的安定性の高い職場だそうです。そうすると、辛口もきちっと届くわけで、きついこと言われても「だよな」と、「ここを改善すればもっと良い仕事できるんだよな」前向きになるということです。

ですので、教育委員会はそういう場になっているのかなと思いつつも今はそういう場になっているのかもしれないなと思いつつも、またそういうところを目指していかないといけないなということを非常に思ったところでした。

先ほど柘原小学校で相手を思いやるという言葉が出ましたが、それもこの中に入ってくるのかなという気がします。

それとおっしゃったのは、「怖いのは、無意識の偏見」でした。

このことは誰もが知っているわけです。誰もが持っているわけです。私も持っていますし、教育委員の皆さんも持っているわけです。それが怖いというところはそのとおりだなと思うところでした。

要は、そのことを自覚できるかどうかだと、思うとすると「ちゃんと言葉を選んで」というところが、相手を思いやるとか、慮るとか、そういうこともできるのかなということを非常に感じ、そして、かつそういう学びの大切さを感じました。

ということで、後で言おうかなと思いましたが、田原委員が今日で最後ということで、3期、12年に亘って大変な重責を担っていただきました。

8年前に私が教育長になったときは、左に野村委員、右に田原委員、どちらも学校籍、その横に葛迫委員がいらっしゃるって、野村委員の横には中谷委員がいらっしゃるという構成でスタートしたところですけども、田原委員をみていますと本当にソフトに、笑顔で、いつも優しく、まさに語りかけるように、話をしてくださる。

学校訪問でもそうです、各課長も見ておられるとおりに、必ずその学校の粗ではなくて、マイナスではなくて、よさをきちっと見取って、そしてそれを校長・教頭のエールとして返されます。温かい言葉を添えて。

それは非常に励みになりますというようなことで、いつもいつも校長、教頭からは、感想としていただいていたところですよ。

一方、また水之小学校に対する思いというのは、すごく熱い委員でもありました。

やはり、そういうこよなく地域を愛し、そして、水之上小は、ご自身の母校でもあるわけですけども、大事にされているのだなというところは、もう常々感じておりますし、これまで関わってきた行政職員もそうですし、管理職もそう、あるいは水之上小学校職員にとっては非常に身近な教育委員であったと思います。

この12年間の中で実は公民館主事も一時期されて、二重の苦しみで本当にすごい難儀苦勞をまさに抱えながら、また当時はコロナというものもありましたけれども、女男河原はやっぱりしないといけないわけで、その準備だとか奮闘されている姿を見ながら本当にすばらしい方だなと思いながら見ていました。

けども、いつかこういうときが来るわけで、まだまだお元気で、もっともっと教育委員をしていただきたいくらいなのですけども、一旦、引かれて、そして今度はまた外から私どもにも叱咤激励いただければありがたいなと思いますし、今度の明石委員も田原委員を見習いながら、またこの中で唯一の学校経験者、管理職、行政も経験された方ということですので、田原委員からバトンを引き継いで、しっかりと職責を果たして欲しいなと思っています。

もう本当に言葉は足りないですけども、長い間3期12年に亘りまして、大変お世話になりました。

子供たちもほんとにお世話になりました、ありがとうございました。

日を改めて、歓送迎会という形で、ぜひまた田原委員に直接皆さんで語らいながら、お礼を申し上げればと思っておりますので、ぜひその時は課

田原委員

長にも参加していただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。
ということで、私の方からは本当にお世話になりました。ありがとうございました。

ぜひ、第3の人生を楽しんで欲しいなと思いますし、大いに教育に関わっていただきたいなと思っております。これからもよろしく願いします。

過分なお礼をいただき、ありがとうございました。

今言われましたように、3期12年こんなに長く務めるというのは、思ってもいなかったのですけれども、令和元年でしたか、ちょうど地区公民館をやめるということで、教育委員の任期が終わったところでしたので、もういいかなと思っていたところ、教育長から、「もう1期頑張ってくれ」と言われて、「あと2年」ということで引き受けたのでしたけれども、いつの間にか、2年やっていううちに、忘れてしまった。

それぐらい、こう雰囲気良くて、楽しく充実した年月だったなあというふうに思っています。

その中で、私に何ができたのかなと思うのですけれども、心がけていたのは、先ほど言われた学校の校長や教頭、かねて苦勞されている立場がわかっておりますので、できるだけ良いところを見つけて褒めてあげようとか、この言葉が励ましになるということを中心掛けて、1つは、やっぱりアドバイスすることも必要なのだと思いましたけれども、なかなかアドバイスする部分がないぐらいやっぱり一生懸命やっていたらしゃいました。

垂水の先生方、素晴らしいと思って安心したところでした。

それからいろんな研修にも行かしてもらって、それもためになりました。

また、ここで今までの教育委員の方々もやったことないような研修もしました。全国教育委員とのオンライン会議で大変緊張しましたけれども、そういう教育委員とオンラインで会議をするなんて、あんな経験はもうないなと、すごいことだなというふうに思いました。そういう貴重な経験もさせてもらって、成長をさせていただいたなというふうに思います。

それから、今、垂水市はGIGAで県下のトップをいっていますが、ここに学校、教育委員会が頑張っている。

ここについては、ちょうど導入がコロナで沈んでいた時代でしたが、国も進めておりましたけども、そういうときに前倒しして、持ってきてやられた坂元教育長の先見の目といいますか、すごいことだなと、今も感心しております。

そしてGIGAで早く取り組んだことによって、学校も子供たちもそれぞれレベルが上がってきましたし、またいいことに学力まで反映しているということで、非常に素晴らしいことだなというふうに思います。垂水市としてはいい風が吹いていると思います。

水之小学校の学校だよりの中で学力調査結果が乗っていましたが、全国との比較の欄があって今年は算数も上でした。

この結果は、校長は喜ばれたのだろうなと、校区の人たちも喜んだようなど、思いながら見ることでした。

そういうふうに、学校全体にいい風が吹いているというか、いい雰囲気になってきているので、またさらに一段、学校と教育委員会が一体となって進めてくださればありがたいなと思います。

| | |
|--|---|
| <p>教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長</p> <p>6 閉 会</p> | <p>それから最後になりましたけれども、これまで、ここまでできたのは、本当に、ここにいらっしゃる教育長、それから教育に携わる方々、それから各課長、それから事務局の指導主事の先生とか、そういう方々の力があつたから、ここまでできました。</p> <p>そのことについて、心から感謝したいと思います。ありがとうございました。以上であります。</p> <p>9月10日から10月10日までの主な行事等について各課長が報告。併せて、10月11日から11月11日までの行事予定についてお知らせした。</p> |
|--|---|